

図書館でつながる 幼・小・中・地域 新津第三小

新津第三幼稚園



ボランティア委員会の児童が自ら選んだ図書の本を選書して練習し、園児に読み聞かせをしています。学校の敷地内に幼稚園が併設されていることでつながりをもつことができます。



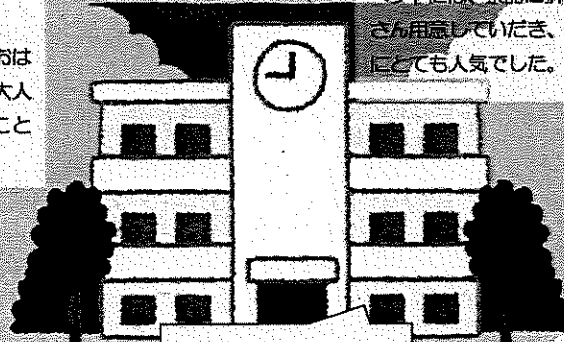
読み聞かせボランティア「ぼけっとさん」は毎週火曜日13時30分～13時40分に各クラスで読み聞かせをおこなっています(学年ごと)。長年の活動経験を生かし、楽しいお話や語りを聞かせてくれます。夏休みにはイベントとして「おはなし会」も開催し、幼児から大人まで楽しめる時間をすごすことができました。

読み聞かせボランティア「ぼけっとさん」・おりがみボランティア



図書館の廊下には季節に合わせて折り紙の装飾が施されます。「おりがみボランティア」の皆さんのおかげで図書館前は明るくにぎやかです。読書週間などのイベントには、景品に折り紙をたくさん用意していただき、子どもたちにとっても人気でした。

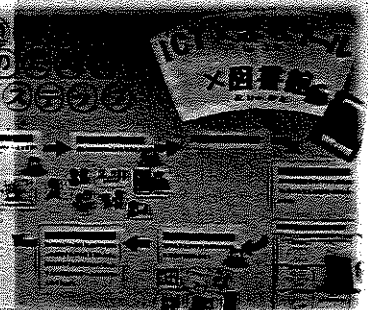
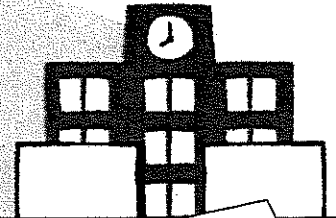
新津第三小学校



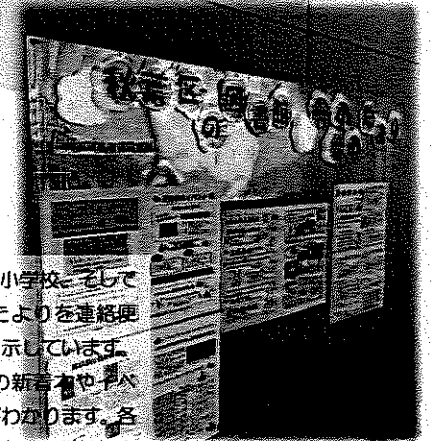
中学校区の3校で図書館主任と司書が集まって話し合いをしました。第一中学校では「課題解決生徒の情報活用能力育成のために「課題解決のための6ステップ」を掲示・共有している」ということを受けて、小学校でもそれにつながる掲示・オリエンテーションができるよう工夫することになりました。

第一中学校図書館委員会と相互に図書館紹介冊子を作成・交流する機会をもち、などの取組みも行いました。

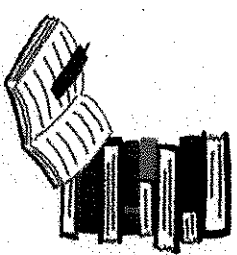
新津第一中学校・新津第一小学校



第一中学校・第一小学校とそれぞれ新津図書館のおたよりを連絡便で送付し合って掲示しています。それぞれの学校の新着本やイベントの様子などがわかります。各校の司書の工夫がみえるおたよりのため参考にもなります。



図書館の取り組み



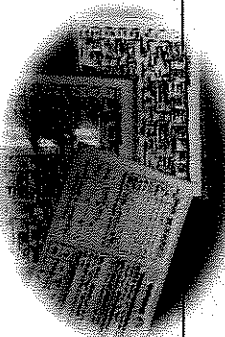
- 読書センターとして【図解で紹介】
- ・季節やイベントに合わせた展示図書【継続】
 - ・毎週火曜15分間の「読書タイム」【継続】
 - ・「ぼけっとさん」によるお話の時間【継続】
 - ・「三小おすすめの本」の推奨【継続】

■学習センターとして

<p>・調べ学習のための知識・技能および国語の教科書単元に合わせた「情報活用能力」育成のオリエンテーション(4月)【新規】</p>	<p>年度初めのオリエンテーションで学年に応じた「調べ学習のための知識・技能(情報)の収集・選択)」に関するオリエンテーションを行なった。4-5月の国語単元で図書館に関する学習が各学年であることも考慮し、その内容にも準じたものを今年度実施した。</p>
<p>・「思考ツール」利活用に向けた掲示【新規】※小中連携 ・「課題解決のための6ステップ」意識化のための掲示【新規】※小中連携</p>	<p>中学校区の小中学校で共通理解(連携)を図ろうと「思考ツール」の利活用および「課題解決のための6ステップ」に関する掲示を充実させ児童が意識化できるよう努めた。 学年によっては「思考ツール」を活用しようという意識づけができロイロノートの思考ツールを活用する姿もみられた。 授業実践③に記載</p>
<p>・学習に応じた図書資料の収集・事後アンケートおよび履歴の蓄積【継続/新規】 ・事後アンケートに基づいた図書館資料の充実【新規】</p>	<p>提供した資料は一覧を印刷して担当教諭に渡し、返却漏れがないかの確認だけでなく、資料の利活用の様子をアンケートに記入してもらったり、一覧にチェックを入れてもらうなど工夫した。不足したものと公共から借り入れたもので利用が多かったものは購入を検討するなど、事後アンケートを活用することもできた。 →資料一覧は年度ごとにフアイリングし、前年度の履歴をもとに資料選びがスムーズにできるようになった。</p>
<p>・図書の利活用促進「なじらねカード」の運用【新規】</p>	<p>リンクエストカード・事後アンケート用紙 別紙</p> <p>各学年の年間指導計画に、前年度の利用を基に図書利用があった単元と利用単位(学年・学級)を加筆したものをカードにして、時期が近くなったところに学年主任の机の上にカードを示して図書利用を促した。利用時期が一目で確認できる上、教諭に図書利用を呼びかけやすくなった。</p>



新津第一中学校図書館掲示



令和4年度 図書リクエスト券

学年

記入者

年 (記入者)

月 日

()

教科			
単元名			
学習の内容			
どのような 図書 (内容)			
が必要ですか			

必要/〇冊数 〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

(該当なし) (学年で利用する) / 学級で利用する (個人で利用する)

利用開始時期

多くの冊数を必要とする場合に公共図書館へ依頼・貸出をします。そのため早めのお申込をおすすめします。

.....きりとり.....

本の用意ができました

貸出日	月	日	
返却日	月	日	

本は、お渡しした貸出資料一覧と一緒に返してください

リクエストありがとうございました

図書の利用ありがとうございました

子どもたちの活用の様子をお聞かせください

① 子どもの活用の様子がよく見られた図書はどれでしたか？「貸出資料一覧」に〇印をつける（ラインをひく）などして教えてください。

② 学習を進める中で、探したけれど図書から得られなかった「キーワード」や「情報（〇〇について知りたい）」があったら教えてください。

--

③ 図書と併用して使ったツール（情報）があれば〇をつけてください。

- ・タブレット（インターネット） ・その他（ ）
- ・ペンタブレットやリーフレット（具体的に： ）
- ・映像資料（具体的に： ）

ご協力ありがとうございました。資料一覧と一緒に司書へお返しくください。

図書の利用ありがとうございました

子どもたちの活用の様子をお聞かせください

④ 子どもの活用の様子がよく見られた図書はどれでしたか？「貸出資料一覧」に〇印をつける（ラインをひく）などして教えてください。

⑤ 学習を進める中で、探したけれど図書から得られなかった「キーワード」や「情報（〇〇について知りたい）」があったら教えてください。

--

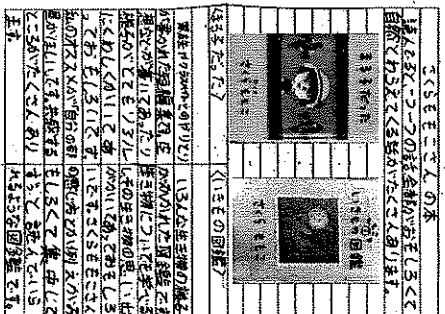
⑥ 図書と併用して使ったツール（情報）があれば〇をつけてください。

- ・タブレット（インターネット） ・その他（ ）
- ・ペンタブレットやリーフレット（具体的に： ）
- ・映像資料（具体的に： ）

ご協力ありがとうございました。資料一覧と一緒に司書へお返しくください。

<p>教科</p>	<p>国語 お話を読んで、しようかいしよう 「スイミー」</p>
<p>ねらい</p>	<p>本文中に出てきた比喻表現を参考にして、自分なりの比喻表現を考え、紹介することができる。</p>
<p>指導計画</p>	<p>全9時間 第1次 単元の学習課題を確認し、話の流れを確かめる。 第2次 登場人物の心情を読み取り、出来事や様子を確かめる。 第3次 出てきた比喻表現を使って、自分なりの比喻表現を考えたり、紹介したりする。</p>
<p>授業の実際</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「スイミー」の本文中に、比喻表現が登場する。児童にとっては、初めての比喻表現である。そのため、自分自身でも海の生き物を見て、比喻表現を書く学習を行った。 ・海の生き物の図鑑の中から、興味のあるものや比喻表現に出来そうなものの写真を撮り、「○○みたいな○○』という文を作った。 ・タブレットで写真を撮り、テレビに映し出した。子どもたちは初めて見る海の生き物に興味をもち、積極的にどんな比喻表現が出来るか考えていた。 ・休み時間にも自分から本を手に取り、眺めている児童の様子も見られた。 <div data-bbox="669 539 878 922" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="548 539 645 949" data-label="Text"> <p>雪❄️が、ふってるよ うなモンガラカワハギ</p> </div> <div data-bbox="526 986 878 1292" data-label="Image"> </div>

教科	国語 作家で広げる私たちの読書
ねらい	同じ作家の作品を読み，共通するよさを見付け，紹介カードを書くことができる。
指導計画	<p>全時間</p> <p>第1次 これまでの読書生活を振り返り，読み広げることに関心をもつ。</p> <p>第2次 紹介カードの書き方を理解し，選んだ作家の紹介カードを書く。</p> <p>第3次 同じ作家を選んだ人と紹介カードを読み合い，感想を伝え合う。</p>
授業の実際	<p>・「作家さんの良さと，その本の良さを紹介しよう」という単元をつらぬく言語活動を設定した。</p> <p>・同じ作家でも，違うテイストの本はたくさんある。その中でも，作者が書いている本に共通していることは何か考えさせた上で，学習に取り組んだ。</p> <p>・司書から5人の作家の様々なジャンルの本を選択してもらった。児童が手に取りやすいエッセイ，詩集，小説を選択してもらったので，苦手意識をもつことなく取り組むことができた。</p> <p>・同じ作家を選んだ友達と紹介カードを読み合い，感想を伝え合うことができた。</p>



《授業の実践③》

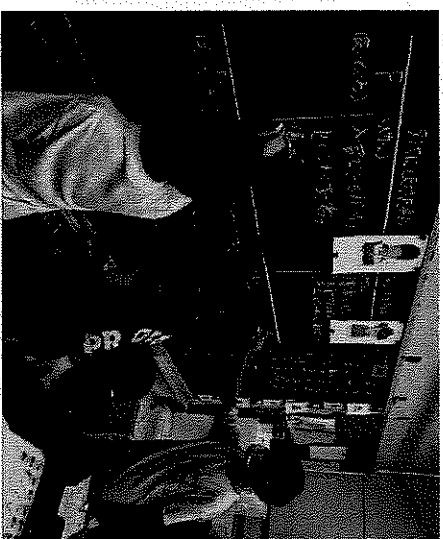
新津第三小学校

(1) PMI ツール

道徳の時間に活用。主人公のタケヤが委員会の活動に行くか、リレーのバトソンの練習に行くかで迷っている場面で活用しました。二つの選択肢のP(よいところ), M(悪いところ), I(どちらでもないところ)を整理しました。こうすることで、感覚的にはなく具体的にどちらの行動を採ることが望ましいかを視覚的に理解することができました。

道徳「タケヤの悩み」PMIツール

P	タケヤは陸上大会でかきこをきくはバトソンの練習が出来る	タケヤは陸上大会でかきこをきくはバトソンの練習が出来ない
M	タケヤの練習が出来るからかきこをきくはバトソンの練習が出来ない	タケヤの練習が出来ないからかきこをきくはバトソンの練習が出来ない
I		



(2) Yチャート

国語の時間に活用。「春」か「秋」か、「和食」か「洋食」かなどの二つの選択肢のうちから一つを選び、意見の同じ者同士でグループを構成しました。相手のグループに自分たちの意見の良さを理解してもらえようように、発表原稿としてYチャートを活用しました。1枚の紙を3つに分け、①自分のグループの意見を進める理由、②自分のグループが出してきそうな意見、③相手のグループから投げかけられそうな質問に対する返答をまとめました。

